

教育センターだより 98号

平成26年12月

香川県教育センター

香川県高松市西宝町2丁目4番18号

TEL 総務課 087(833)4235 教育研究課 (833)4239 教職員研修課 (833)4229 教育相談課 (833)4238

FAX 087(834)1105 URL <http://www.kagawa-edu.jp/educ/htdocs/>

香川県教育センター研究発表会を開催します！

【会場】香川県教育会館ミュージズホール 【駐車場】教育会館、教育センター 他

平成27年1月23日(金) 13:00~16:25 (受付12:00~13:00※)

※当日12:00から、教育センターの館内を自由にご覧いただけます。ぜひ、お立ち寄りください。

13:00 13:15	13:15	14:00	14:45	15:00	16:20	16:20 16:25
開会式	研究発表			講演	閉会式	
<p>調査研究① 「全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析と今後の取組の提案」</p> <p>〔研究協力〕 さぬき市長尾小学校・綾川町立羽床小学校 ○指導助言 香川大学教育学部附属教育実践総合センター 准教授 山岸 知幸 先生</p>				<p>【演題】 「学習指導要領改訂に伴う道徳教育を核とした学校づくり」</p> <p>香川大学教育学部附属教育実践総合センター長 七條 正典 先生</p>		
<p>調査研究② 「学校におけるタブレット端末の活用に関する調査研究」</p> <p>〔研究協力〕 まんのう町教育委員会・県立高松養護学校・県立香川西部養護学校 ○指導助言 香川大学教育学部附属教育実践総合センター 准教授 松下 幸司 先生</p>						

講演

香川大学教育学部附属教育実践総合センター長 七條 正典 先生

演題 「学習指導要領改訂に伴う道徳教育を核とした学校づくり」



道徳・生徒指導の各分野でご活躍中の七條正典先生に、『特別の教科 道徳』について、その効果的な指導法と評価に関する具体的な提案をいただきます。また、「心のノート」の企画編集にあられたご自身の経験に基づき、今年度から使用されている指導資料「私たちの道徳」の活用についても触れていただきます。

全国と香川の2つの学習状況調査からうかがえる香川の子どもたちの課題を踏まえ、道徳教育を核とした学校づくりについてもお話しいただく予定です。



〔プロフィール〕

香川県内の公立小学校、香川大学教育学部附属高松小学校に勤務ののち、文部科学省初等中等教育局教科調査官を経て、2001年から香川大学教育学部教授、現在、附属教育実践総合センター長。日本道徳教育学会、日本道徳教育方法学会等の理事のほか、2007年から文部科学省初等中等教育局視学委員を務める。

〔主な著書等〕

「豊かな心の教育への経営戦略」（2002）教職研修 新教育課程下の学校経営戦略第3巻 教育開発研究所

「『伝え合う力』と豊かな人間関係」（2005）中等教育資料12月号 文部科学省

【調査研究①】 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析と今後の取組の提案

2つの学習状況調査の結果を詳細に分析し、そこからわかる本県の児童生徒や学校、教職員にとっての課題と改善の方向性について研究しました。

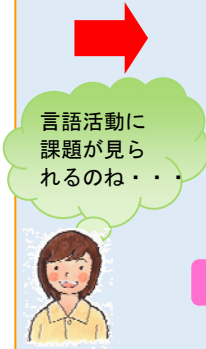
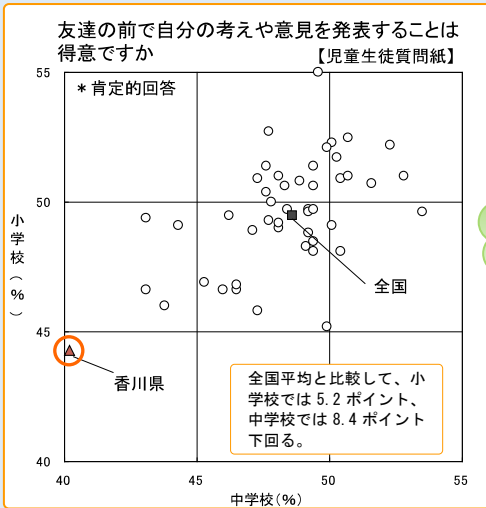
研究協力校の具体的な取組みも踏まえ、多様な角度から提言を行います。

【発表内容】

- ・全国学力・学習状況調査の分析結果
- ・香川県学習状況調査の分析結果
- ・本県の課題と改善の方向性
- ・改善に向けた研究協力校の取組の紹介

課題

(H26 全国学力・学習状況調査結果)



改善の方向性

◆ 児童生徒を生かす言語活動を！ ◆

改善に向けての Check Point

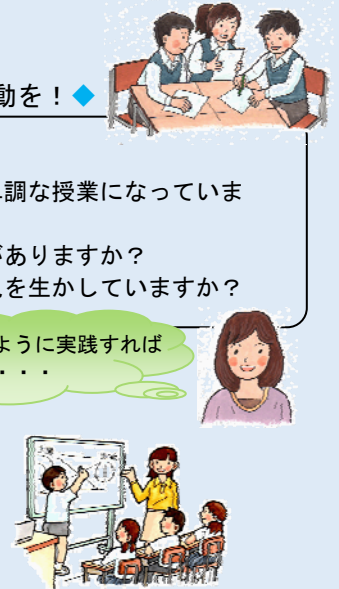
- 児童生徒が聞くだけの単調な授業になっていませんか？
- 児童生徒が活躍する場がありますか？
- 発表した児童生徒の意見を生かしていますか？

具体的にどのように実践すればいいのかしら...

研究協力校の取組を紹介

【研究協力校】

- さぬき市立長尾小学校
- 綾川町立羽床小学校



【調査研究②】 学校におけるタブレット端末の活用に関する調査研究

現在、教育用タブレット端末の学校への導入が全国的に急スピードで進んでいます。香川県でもいくつかの市町で導入が始まっていますが、国の調査によると、香川県の教員のICT活用指導力は、小学校で35位、中学校で45位であるなど、指導力の早急な向上が求められています。

こうしたことから、教育センターでは、今年度から、教員のタブレット端末や電子黒板の活用スキルや意識の向上に向けての研究を行っています。

今回の研究発表会では、この研究の成果を踏まえ、授業の様々な場面でのタブレット端末の効果的な活用方法や、校内研修のあり方などについて提案します。

【発表内容】

- ・タブレット端末を利用した際の教育的効果
- ・タブレット端末を利用した授業展開の紹介
- ・学校におけるICT活用に関する研修方法

【研究協力】

- まんのう町教育委員会
- 香川県立高松養護学校
- 香川県立香川西部養護学校

教員の ICT 活用指導力

小学校	中学校	高等学校
1位 佐賀 93.8%	1位 佐賀 85.0%	1位 愛媛 96.4%
2位 岡山 85.1%	2位 岡山 77.2%	2位 岡山 91.5%
3位 高知 82.6%	3位 高知 73.9%	3位 佐賀 90.4%
35位 香川 64.1%	45位 香川 48.9%	9位 香川 78.6%
平均 68.0%	平均 58.9%	平均 65.9%

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」
(文部科学省 平成26年8月)

タブレット端末を使うとどんなにいいの？



どんなふうに授業をすればいいの？



校内研修も大事ね。

研究の方向性

教員の意識の向上

先進校の取り組みを参考に、教員の意識のあり方を考えます。

指導の充実

校内での様々な指導例を検討し、タブレット端末の可能性を考えます。

環境の整備

充実した教育実践のための整備のあり方を考えます。

【日程・内容】詳しくは12月上旬送付予定の学校あて開催通知をご覧ください。

【参加申込】平成26年12月上旬から教育センターWebサイトに申込様式を掲載し、電子メールやFAXで受け付けます。

保護者との関係づくりに困っていませんか？

学校に相談に来る保護者の思いは複雑です。日頃の自分の対応を振り返ってみましょう。

- ◆ 言葉や態度にほんの少しの気配りをプラスするだけで、保護者との信頼関係は深まっていきます。
- ◆ さまざまな背景を抱える困難事例の場合は管理職、SC、SSW等に経過を伝え、組織的に対応しましょう。



保護者は教員のこんな対応に困っています

- 子どもが先生の言葉を怖がって、登校をしぶっている。
- 宿題が多くて、子どもがついていけない。先生は忙しそうで、相談しづらい。
- クラスに騒がしい子がいて、授業に集中できていない。連絡帳に書いたが、先生の返事がない。
- 子どもがいじめられ、先生に相談した。対応を約束してくれたが、その後どうなったのか…。
- 不登校の子への家庭訪問が、子どもにはつらい。断るのも申し訳なく、どうすればいいか…。

Check!

かかり方のポイント

- ① 挨拶・感謝「お忙しい中ありがとうございます」
連絡して下さったことに感謝の気持ちを表しましょう。
- ② 傾聴「どうされましたか」
こちらの事情は一旦脇に置いて、まず話をよく聞きましょう。
- ③ 受容・共感「お気もちはわかります」
保護者の戸惑いや不安、あせりをしっかり受け止めましょう。
- ④ 事実確認「これまでの経過をお話します」
ささいな手立てや変化も丁寧に報告すると安心してもらえます。
- ⑤ 具体的な対応「一緒に考えましょう」
相手の意向を確かめながら今後の対応や方針を示しましょう。
- ⑥ 継続支援「いつでもご連絡ください」
相談後も学校の対応や子どもの様子等を伝えていきましょう。

ご活用ください！「教職員のためのサポートブック」

「教職員のためのサポートブック」は、教育センターの相談事例をもとに、保護者や子ども、同僚とのよりよい関係づくりのためのヒントを提案しています。

- サポートブック1 — 保護者とのよりよい関係を築くために —
- サポートブック2 — だれもが安心して過ごせる学級をつくるために —
- サポートブック3 — ゆるやかな絆と信頼で結ばれた職場づくりのために —

「教職員のためのサポートブック」は、Web サイトからダウンロードできます。



ご相談はこちらの窓口へ

不登校やいじめ、ネットトラブルなど教育に関する様々なご相談にお答えしています。

● 学校生活の悩み相談

- *電話相談 (087)862-4533
- *来所相談 (087)833-4238 (予約受付)
- *メール相談 kesoudan@kagawa-edu.jp

● 家庭教育電話相談

- *子どもホットライン (087)835-7867
- *子育てホットライン (087)861-4951

● 24時間いじめ電話相談

- (087)833-4227
- 0570-0-78310(全国統一ダイヤル)

● ネット上のトラブル相談

- *電話相談 (087)813-0760
- *メール相談 kesoudan@kagawa-edu.jp

新教育センターの整備を進めています。機能も強化します。

教育センターの現在の建物は、建築後40年以上経過し、老朽化が進んでいます。また、耐震化・バリアフリー化ができていないほか、研修受講者用の駐車場がないなど様々な課題があります。このため、高松市郷東町の旧県立がん検診センターの建物を改修し、平成27年5月に移転の予定です。

新教育センターでは、円滑な研修運営ができるよう研修スペースを拡充するほか、情報機器の教育への活用について専門的な研修ができるようにするなど、施設・設備の充実を図ります。

また、移転を機に、研修や相談等の機能面でもその充実・強化を図り、より学校現場に役立つ教育センターを目指します。

<施設・設備の整備（主なもの）>

- 研修室
 - ・一般研修室を8室から11室に増設
 - ・ICT（情報通信技術）専用研修室を新設
- 相談室
 - ・相談室を2室から5室に増室
 - ・行動観察用プレイルームを1室から3室に増室
- 図書資料室
 - ・面積を約1.5倍に拡充
- 駐車場
 - ・研修受講者用に約300台分を確保
- その他
 - ・教育資料展示「香川の教育のひろば」を拡充
 - ・各研修フロアに教員交流スペースを新設



移転先の旧がん検診センター

<機能の充実・強化>

- 教職員研修、調査研究の教育センターへの一元化をさらに進め、学校現場のニーズや今日的な課題に対応したより効果的な研修、調査研究となるよう取り組みます。
- 県教育委員会の教育相談窓口を教育センターにすべて一元化し、一体的な運用を行います。
- 「24時間いじめ電話相談」以外の電話相談窓口を、わかりやすく、子ども向けと保護者向けの二つに再編します。また、相談時間を朝9時から夜9時まで拡充し、利用しやすくします。

現場重視のセンター運営を！

教育センターでは、より一層学校のニーズを踏まえた支援を充実するため、様々な新しい取り組みを始めています。

市町教育委員会との連絡協議会

今年度から、市町教育委員会との情報交換のための連絡協議会を開催しています。

10月20日（月）の第1回連絡協議会では、全国学力・学習状況調査のリーフレットやタブレット端末の活用等について協議しました。今後、毎年2回開催することとしています。

教育相談連携システムの整備

教育相談への適切な対応のため、関係機関や市町教育委員会、学校等との「関係機関連絡システム」を整備します。

緊急な対応が必要な相談等については、問題の解決・改善に向け、より迅速な対応や具体的な対応を行います。



学校支援についてのアンケート

調査研究のテーマや教職員研修の内容、相談業務等についての学校のニーズを把握するため、全学校を対象にアンケートを実施します。率直なご意見をお寄せください。

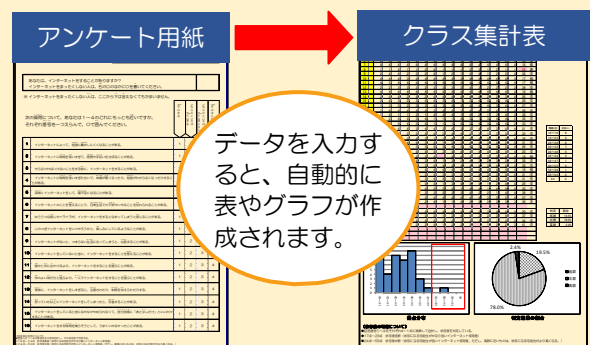
ネット依存の指導のために - 分析ツールの活用を -

スマートフォンの普及に伴い、児童生徒の「ネット依存」が大きな問題となっています。

教育センターでは、ネット依存について、各学校が児童生徒の実態を踏まえた適切な指導ができるよう、「ネット依存分析ツール」を作成し、Webサイトで公開しています。

この分析ツールを使うと、児童生徒へのインターネットの利用状況や意識についてのアンケート結果を基に、児童生徒それぞれの依存度を判定できるほか、クラス単位や学校全体の実態を分析、把握することができます。

ぜひご活用ください。



詳しくは、お気軽にお問い合わせください。